

リハビリテーション科学ジャーナル  
Journal of Rehabilitation Sciences  
投稿・執筆規定

1. 本誌の名称は「リハビリテーション科学ジャーナル (Journal of Rehabilitation Sciences)」とし、年1度聖隷クリストファー大学学術情報リポジトリ (<https://seirei-univ.repo.nii.ac.jp/>) 上で掲載するものとする。特に申し出のないものに関しては、電子的公開について了承が得られたものとする。
2. 本紙を発行する目的は次のとおりとする。
  - 1) リハビリテーション研究の学術的発展と教育の発展に寄与すること。
  - 2) 学部内に共通の研究発表の場を提供するとともに、学科や学部を越えた学際的共同研究活動を促進すること。
  - 3) 論文発表の機会を提供すること、特に、若手教員および大学院生に論文をまとめる経験の場を提供すること。
  - 4) 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部、およびリハビリテーション科学研究科の研究・教育活動に関して、外部へ情報発信を行なうこと。
3. 掲載される原稿は次のとおりとする。なお、著者はどの論文種目にて投稿するかを投稿時に自己申告すること。
  - 1) 研究論文：論理的かつ明確な構想に基づき、自分自身の研究結果をまとめて、ある結論を与えたもの。内容は、新しい情報、洞察、理論の提示を通して独創性を主張しうるもの。
  - 2) 症例研究：リハビリテーション専門職種において、治療技術・介入、結果等に関して客観的に情報を提示し、その内容が共有・理解でき、価値の高いもの。
  - 3) 総説：各専門領域の解説的評論。過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括。
  - 4) 各専門領域の教育・実践等に関する調査・報告
  - 5) 特集（講演録を含む）
  - 6) その他
4. 投稿する論文は次のことを厳守すること。
  - 1) リハビリテーション研究と教育に関するもので他誌へ投稿中、または投稿の予定がないもの。
  - 2) 投稿論文は、ヘルシンキ宣言に基づき、対象者には十分留意し、倫理的な配慮に関する記述がなされていること。厚生労働省の「臨床研究に関する指針」などの厚生労働科学研究に関する指針に従っていること。倫理審査を受け、承認されている場合は承認番号を記載すること。動物実験系の場合は、必ず倫理審査委員会等の承認番号を記載すること。
5. 投稿できる者は次のとおりとする。
  - 1) 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部教員。
  - 2) 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部臨床教授、臨床准教授、臨床講師。
  - 3) 聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学研究科大学院生。
  - 4) 1) の共同研究者、その他編集委員会が認めた者。
6. 査読と採否の決定は次のとおり行なう。

投稿原稿の掲載の可否は、編集委員会が依頼した2名の査読者による査読結果を基に、編集委員会で判定（採用、修正後採用、修正後再査読、不採用）を行い、速やかに著者に結果を知らせる。論文の内容により必要に応じて学部外、学外の専門家に査読を依頼する。

7. 原稿の様式は、おおむね次のとおりとする。

- 1) 用紙サイズは A4 とする。日本語論文の場合、1 ページは 40 字×25 行とし、英語論文の場合はダブルスペースとする。原稿には通しページを記入する。
- 2) 原稿には表紙をつけ、論文種目（研究論文、症例研究など）、題目、著者名、所属、Key Words（3 語）をいずれも日本語と英語の両方で記載し、連絡先（電話、Fax、E-mail アドレスを含む）を明記しておく。
- 3) 日本語論文の場合は、表紙の次に和文要旨（400 字程度）を付け、最後に英文要旨（250 語程度）を付ける。英語論文の場合は、表紙の次に英文要旨（250 語程度）を付ける。
- 4) 英文要旨は、題目、著者名、所属、Key Words、要旨の順にダブルスペースで作成する。原則として、著者自身の責任でネイティブ・スピーカーの校正を受ける、校正を受けたことを証明できる書類（証明書など）を提出することとする。
- 5) 研究論文等は原則として図表を含めて刷り上がり 8 ページ以内（13000 字相当、図表 1 枚 400 字相当）とする。図表や写真、段組などのレイアウトは編集委員会に一任する。
- 6) 数字は特別な場合を除き算用数字を用い、度量衡単位系は適宜 MKS 単位系、CGS 単位系の使用を基本とする。

8. 文献の書き方

引用文献は、本文のあとにまとめて記載する。雑誌の場合は、著者名、(西暦年号)、論文名、雑誌名、巻(号)、頁、の順に記載し、単行本の場合は、著者名、(西暦年号)、章のタイトル、編者名、書籍名、頁、出版地：出版社名の順に記載する。文献の記載法は米国心理学会 (APA) または日本心理学会の方式に従う。

(記載例)

- 1) 福永知子, 西村健, 播口之朗, 井上健, 下河内実, 投石保廣, 他. (1988). 新しい老人用精神機能検査の作成—N 式精神機能検査—. 老年精神医学, 5, 221-231.
- 2) Auyeung, T. W., Lee, J. S. W., Kwok, T., & Woo, J. (2011). Physical frailty predicts future cognitive decline - a four-year prospective study in 2737 cognitively normal older adults. *The Journal of Nutrition, Health & Aging*, 15(8), 690-4.
- 3) 阿部雅子. (2004). 構音障害の臨床 基礎知識と実践マニュアル. 東京：金原出版.
- 4) Bernthal, J. E., Bankson, N. W., & Flipson, F. (2012). Articulation & Phonological Disorders Speech sound Disorders in Children (7th Edition). Boston: Allyn & Bacon.
- 5) 田口貞善. (1997). 1 章 運動と筋. 宮村実晴 (編), 最新運動生理学 (pp. 3-4). 東京：真興交易医書出版部.
- 6) Lawlor, M. C., & Mattingly, C. F. (2008). Understanding family perspectives on illness and disability experiences. In Crepeau, E. B., Cohn, E. S., & Barbara A. B. S. (Eds.), Willard and Spackman's Occupational Therapy 11th. ed. (pp. 33-44). Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins
- 7) 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課.(2008). 障害児支援の見直しに関する 検討会報告書, 検索日 2000 年 10 月 23 日, <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/07/s0722-5.html>
- 8) World Federation of Occupational Therapists. (2012). Definition of Occupational Therapy. Retrieved

October 23, 2016, from <http://www.wfot.org/aboutus/aboutoccupationaltherapy/definitionofoccupationaltherapy.aspx>

9. 投稿の方法（原稿提出の方法）

- 1) 投稿は随時受付する.
- 2) 投稿時には, 7. の様式に則った MS-Word ファイル(表紙, 和文要旨と英文要旨, 本文と文献)と, 図表の PDF ファイルを, 電子メールで紀要委員会 (kiyou@seirei.ac.jp) まで提出する.

10. 著者校正は原則として初校のみとする.

11. 著作物の複製権および公衆送信権

掲載された論文の著作権(著作人格権, 著作財産権)は著者に帰属する. 著者は聖隷クリストファー大学リハビリテーション科学ジャーナルへ, 同機関が公益事業に役立てるために行う掲載論文の複写・複製・翻訳・翻案・要約および第三者への転載許諾の権利を譲渡する.

12. その他

不明な点は, 編集委員会にお問合せください.

2017 年 11 月改訂

2017 年 11 月実行